

同期会便り 22期(1971年3月卒)のページによろこそ!!!

*同期会・クラス会など同期の仲間との集まり、地元でのご活躍等の情報をお寄せください。

22期の皆さんからの寄稿をお待ちしています。

*寄稿に当たっては、卒業期(或いは卒業年月)、氏名(含む旧姓)を必ずご記入ください。

寄稿の宛先は：市川二中同総会事務局 住所：〒272-0825 市川市須和田2-34-1

E-mail：2chu@kde.biglobe.ne.jp

*会報3号(2000年10月)から

★須和田会に思う
22期 酒井(園田)多恵子
平成12年6月10日、市川駅の改札口に伊藤(根岸)ちゃんと待ち合わせて南口の店へ向った。高校が一緒で仲良くしてもらった彼女とは3年ぶり。にこにここと優しい笑顔は、今も変わらない。
父が14年前、母1年半程前に亡くなり、市川駅に降り立つのも久しい。現在、三鷹牟礼に住んでいる。二中には三年になって、転校してきた。杉並の土地は少女の頃の、思いがあり、今はまた、その近くに舞い戻った感がある。
5月、須和田会開催の葉書を、須藤孝君からいただいた。ずっと以前、実家の近くの医者の子供の風邪を診てもらいに行った待合室で、星道ちゃんに会った。この時



に手渡した住所を書いた手帳の切れ端を、忘れずに持っていてくれたお蔭で、嬉しい会の仲間入りができた。

約束の3時を少し回って、焼肉店の前に伊藤ちゃんと立つと、急ぎ足で2階から降りてきた男性に「あっ！」と声をかけられた。「みんな待っていますよ！」。一目で田中啓三郎君とわかった。先を変に譲り合いながら階段を上がると、煙の中になつかしい顔が見えた。

そして、黙々(?)と焼肉を食べる。ビールを飲む。

少し落ち着いたところで二次会、厚生年金会館のクラブへ。ここで一人一人の紹介をし合った。

この会は元はバレエ部の会で星(大野)さん達が始めた事。今回は田中君の音頭で須藤君が名簿作りからいろいろ尽力して下さった事を知った。そして、小林君の語った「布施がみんなを引き合わせてくれたと思ってる」の言葉は、静かに重く胸の痛みを伴って伝わった。その後の賑やかな宴もやがてお開きに。皆さんと別れた。人数が集まれば、是非先生をお呼びしたいという田中君の思いがかなう様、次回の再開を楽しみに。会を開いて下さって有難う。